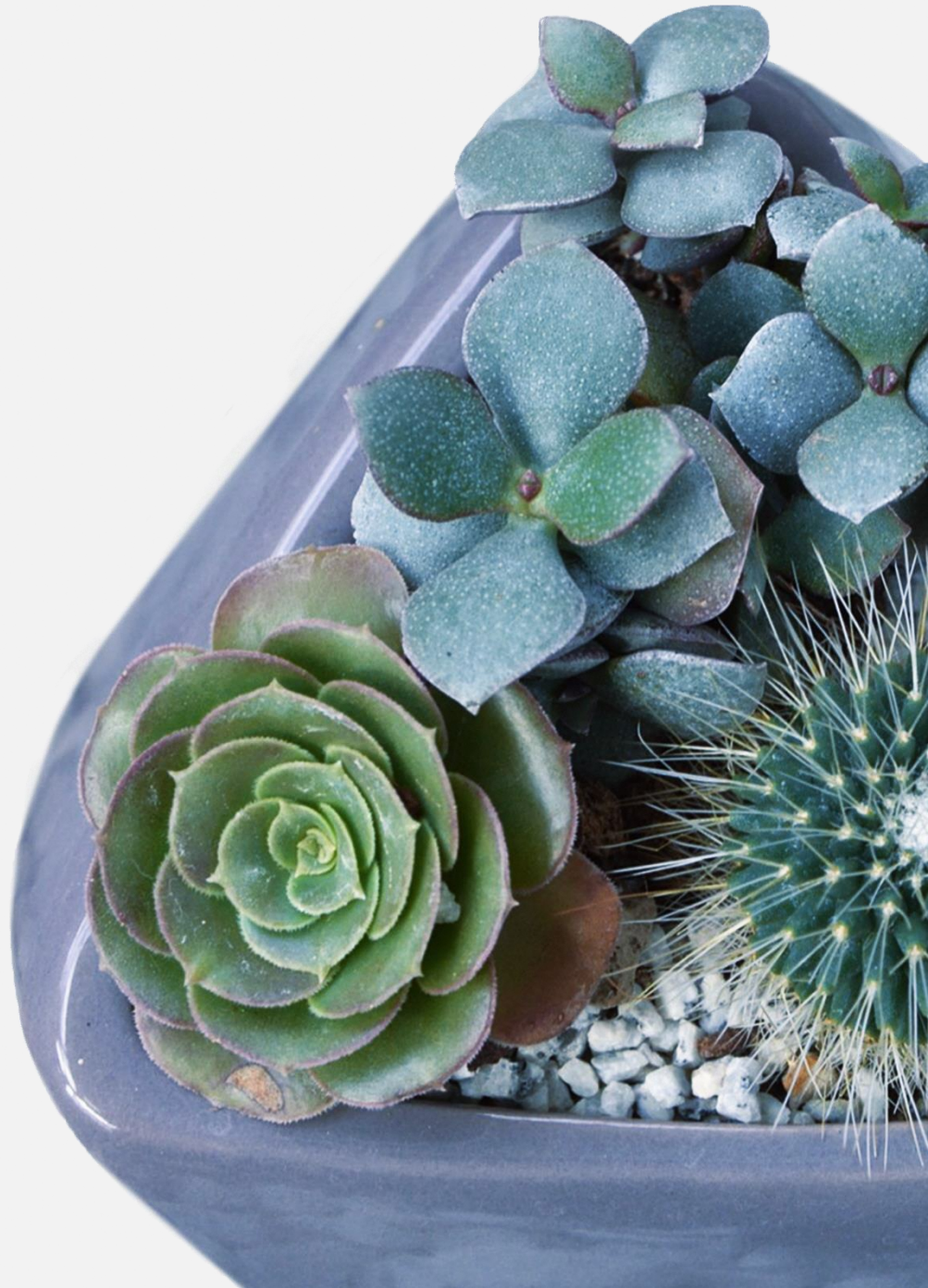


チームデコトラの 飽くなき挑戦

Team Dekotora's endless
Challenge





1. 軽トラガーデンとは

- H23頃 富山県で発祥
- 庭がなく、緑を楽しめないのを解消する為、トラックの荷台を庭の代用とし飾り付けをしたのが始まりと言われています。
- 現在は、茨城県が盛んです。
- 各地で軽トラガーデンコンテストが開催されています。
- 参加者は、土木事務所・緑花センター・緑の愛好家など多方面に広がっています。



2. 目的

市民の皆様への緑に関する関心度を
少しでもあげて頂く

熊本市が提唱しています**森の都**宣言
(昭和47年10月2日熊本市議会)
へのさらなる実現

上記に向けての取り組み
としまして今回「軽トラガーデン」
を行いました。



3. メリット

- 鉢植えの植物を使うのでレイアウトが自由であるという点
- トラックなので移動が楽という点
- 展示スペースも少しで良い点



4. 作り方（進め方）



- 今回はテーマをクリスマスと決め
- 各自が寄せ植えの準備
- 自宅にある飾り付け用のクリスマスグッズも準備
- 軽トラの手配





1人1鉢運動のススメ

- 好きな花で寄せ植えを1人1鉢作成
- コロナ禍で生じたおうち時間の活用や心豊かに過ごす為にまずは家庭で育てる楽しさを味わう
- その後は、皆で寄せ植えを持ち寄り軽トラガーデンを作成することで
- 2度楽しめる



5. 実践 ①〈試作〉

- 12月11日立田山憩いの森にて
- 軽トラの荷台に人工芝を敷き
- 台座を載せ高さに変化を付ける
- 植木鉢の高さ植木の高さを考慮し配置を決める
- 花の色が被らないようにレイアウト
- クリスマスグッズを飾る
- 完成🎅

森林ミュージアム「立田山憩の森」案内図

○「立田山憩の森」には、植物、昆虫、野鳥など多種多様な動植物が生息しており、立田山全体が、「野外博物館（森林ミュージアム）」のようになっています。

○「立田山憩の森」は、森林の状況や施設、観察ポイントによって4つの観察コースを設けています。



ヤブツバキ

観察コースB(総延長1.3km)
ドングリの森とトンボ池コース
 コースには、トンボと水鳥が観察できる「トンボと水鳥の池」・クヌギ・ナラガシワ・コナラなどのドングリが観察できる「ドングリの森」、クスノキについて解説した「クスノキの谷」があります。



ヤマガラ

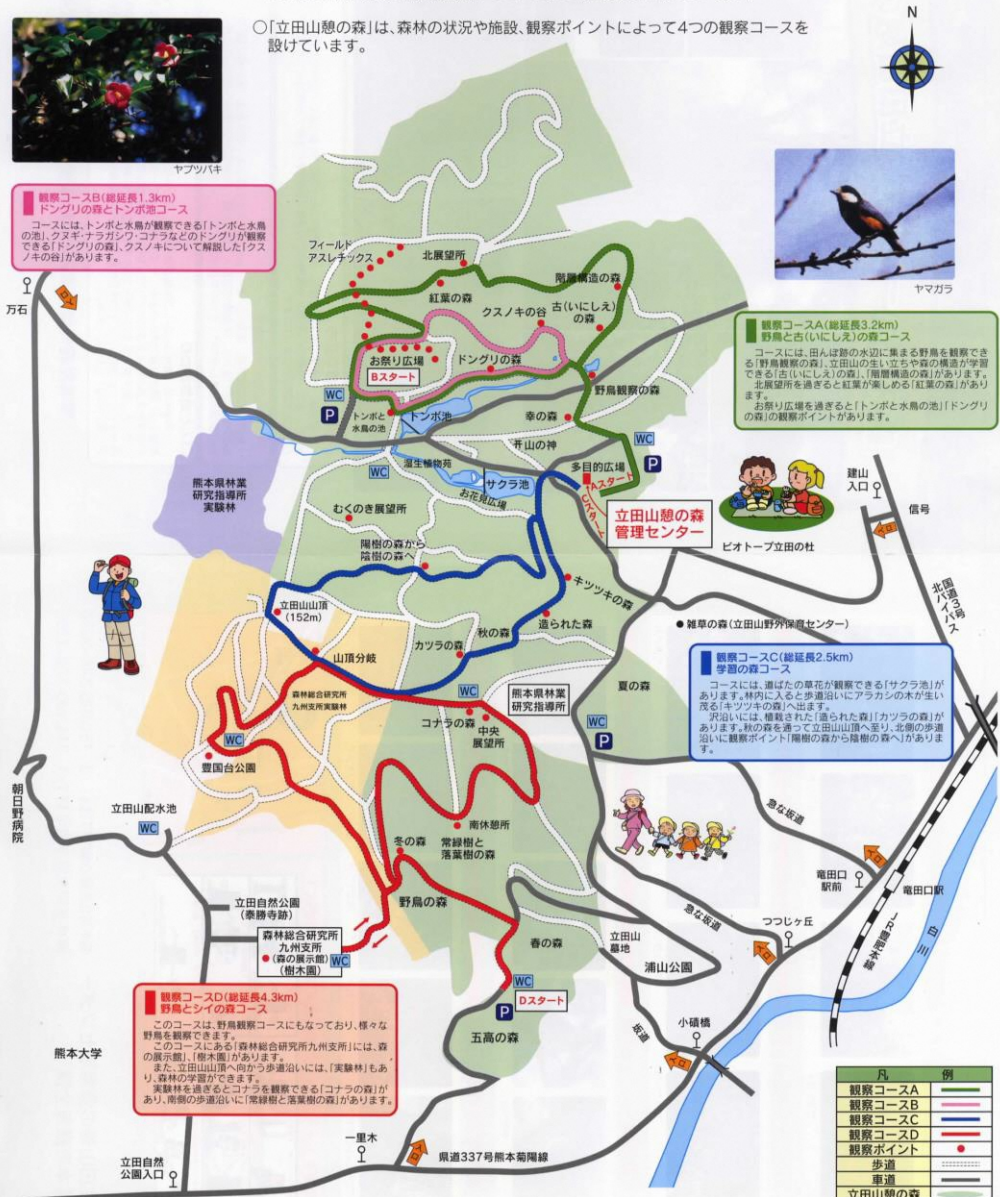
観察コースA(総延長3.2km)
野鳥と古(いにしえ)の森コース
 コースには、田んぼの水辺に集まる野鳥を観察できる「野鳥観察の森」、立田山の生い立ちや森の構造が学習できる「古(いにしえ)の森」、「種々樹の森」があります。北展望所を過ぎると「トンボと水鳥の池」・「ドングリの森」の観察ポイントがあります。



ピクトブ立田の社

観察コースC(総延長2.5km)
学路の森コース
 コースには、道ばたの草花が観察できる「サクラ池」があります。林内に入ると歩道沿いにアラカシの木が生い茂る「キツツキの森」へ通じます。歩道沿いには、植栽された「進められた森」・「カサツラの森」があります。秋の森を過ぎて立田山山頂へ入り、北側の歩道沿いに観察ポイント「陽樹の森から陰樹の森へ」があります。

観察コースD(総延長4.3km)
野鳥とシイの森コース
 このコースは、野鳥観察コースにもなっており、様々な野鳥を観察できます。このコースにある「森林総合研究所九州支所」には、森の展示館、[樹木園]があります。また、立田山山頂へ向かう歩道沿いには、「美樹林」もあり、森林の学習ができます。美樹林を過ぎるとコナラを観察できる「コナラの森」があり、南側の歩道沿いに「常緑樹と落葉樹の森」があります。



凡	例
観察コースA	緑色の線
観察コースB	赤色の線
観察コースC	青色の線
観察コースD	黄色の線
観察ポイント	赤い点
歩道	点線
車道	実線
立田山憩の森	緑色の塗りつぶし
森林総合研究所	黄色の塗りつぶし
森林研究美樹林	紫色の塗りつぶし





完成

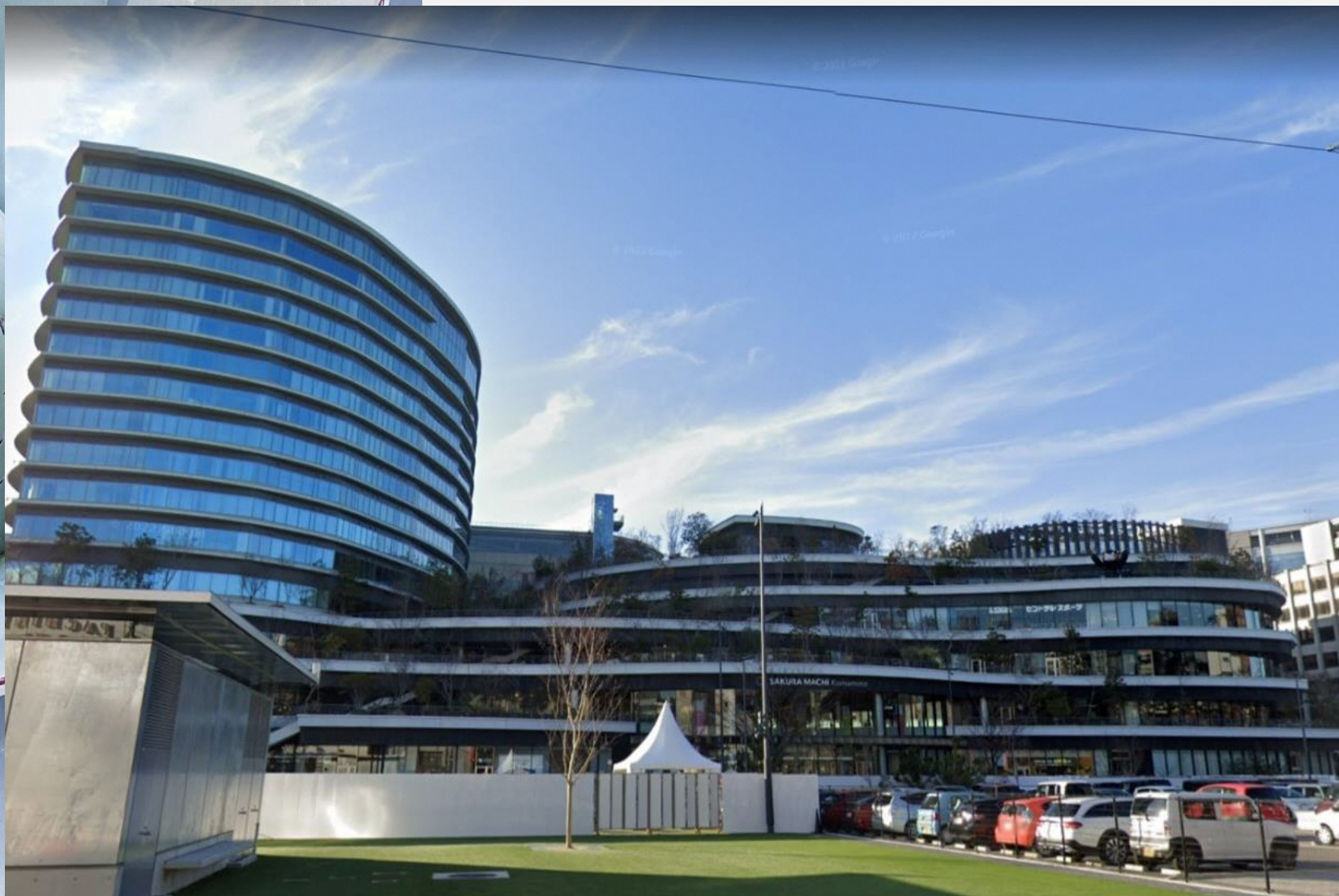


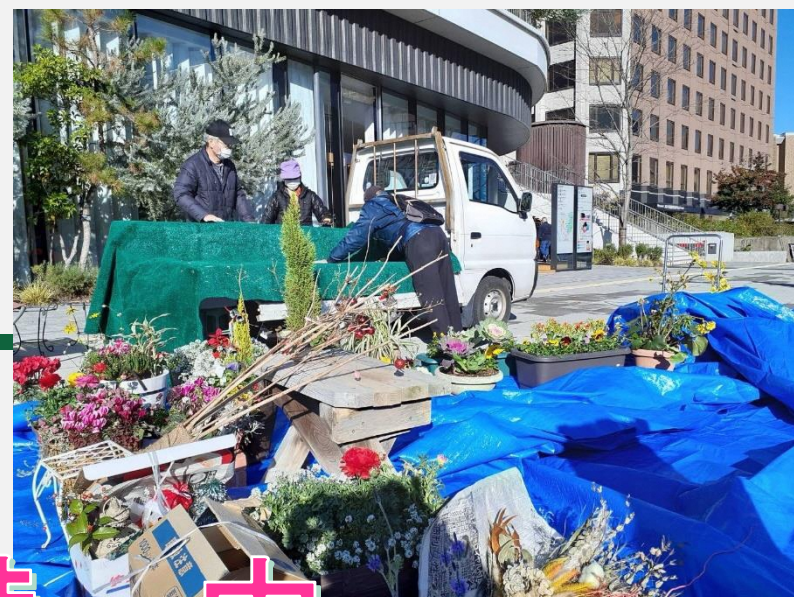
第2回緑のマイスター養成講座 Team デコトラ



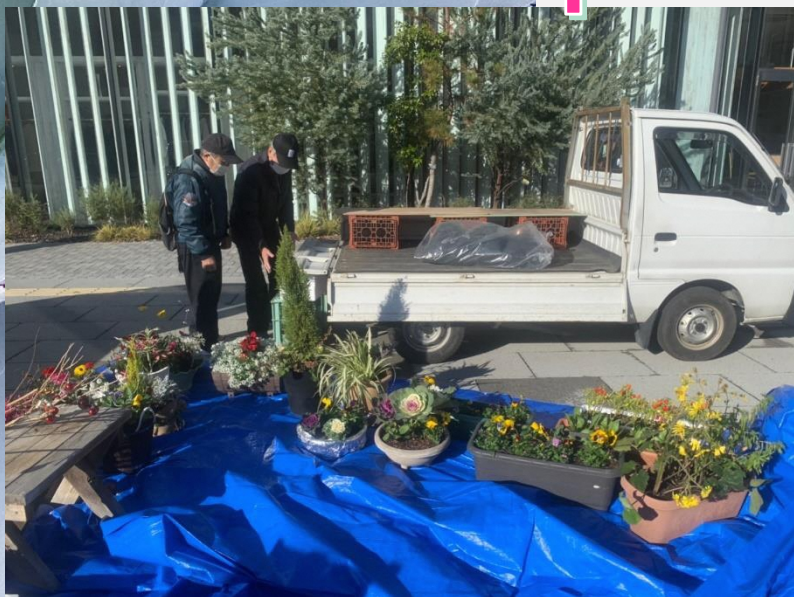
5. 実践 ②〈本番〉

- 12月18日サクラマチクマモトの広場スペースにて
- 市街地整備課様より許可を得てトラック搬入、設置
- 持ち寄った多くの鉢を養生シートの上に仮置き背の高い植木鉢からレイアウト
- トラックのタイヤを隠すため植木鉢を配置
- 試作の効果もあり短時間で配置完了
- 3時間ほど展示した後、撤去





準備中



第2回緑のマイスター養成講座 Team デコトラ



第2回緑のマイスター養成講座 Team デコトラ



6. 軽トラガーデンの今後

- ◆ イベントでの活用
- ◆ コンテスト開催
- ◆ 各企業、団体のP Rの手法



6. 軽トラガーデンの今後

＜例＞

1. 駅前広場、サクラマチクマモト、植木市会場、カントリーパーク、グランメッセなどの会場
2. 農業高校、造園業、保育園、地域単位など団体での参加を募る
3. 今回の費用は各自で負担しましたが、今後の可能性として企業にご協力して頂き広告宣伝する方法
4. ロゴ付きの軽トラをお借りしレイアウト展示し、そのまま宣伝になる方法
5. 卒園式・入学式に配置し、写真撮影スポットに活用
6. イベント開催時の入口に配置



7. 今後の課題

テーマごとに、軽トラガーデンのバリエーションを増やしいろいろな場面で活用できるように寄せ植えの仕方・樹木の育て方の勉強が必要である。

<例>和の庭園作り、ハーブガーデン

しかし、今回実際に軽トラガーデンを企画し実施しましたが、当初の想像以上のポテンシャルを秘めた企画であると確信しました。



最後に

たくさんのアイデア、アドバイスを頂きました。
講師の桑原 たか子先生、永村 裕子先生、
軽トラガーデンの設置場所手配等尽力して頂いた
熊本市環境共生課の永田様、
大変お世話になりました。本当にありがとうございます。



最後に

ご清聴ありがとうございました。

チームデコトラ一同

